



## 《シンポジウムのご案内》

- 大阪府パートナーシップによる社会づくり事業（都市環境の創造・自然再生）—  
『園庭・校庭の芝生化』の新たな維持管理システムの構築に向けて

### テーマ：“芝生の校庭”をつづけるための方策を探る

園庭・校庭の芝生化は少しずつではありますが、着実に実施例が増えてきており、地域や自治体・学校などでも都市環境への効果も含め、実施へ向けての検討を行っている事例が増えてきています。

しかし、今回の調査で対象となった学校・園の実施例の全てが良好な状態を維持しているわけではありません。その原因に関しては様々な要素が考えられますが、“芝生の校庭”を維持していくための方策は、技術論だけで解決できる課題ではないと言えます。

今回の調査の中で明らかになった事の一つは、個々の学校・園がそれぞれの工夫や努力の中で“芝生の校庭”を維持しているのが現状で、お互いの貴重な経験や情報が共有される機会が無く、技術的な情報や知識の不足とサポート体制の不備など、解決すべき課題は多いと考えられます。

今回のシンポジウムは、このような現状認識を踏まえ“芝生の校庭”という『場』を持続するには何が必要なのかを考え、新たな維持管理システムの構築に向けて3つの視点からの提言をヒントに、シンポジウム参加者と一緒に“芝生の校庭”が持続できるシステム作りを考えて行きたいと思います。

#### 視点1：つくる 『鳥取方式の園庭・校庭の芝生化について』

鳥取大学農学部 中野淳一先生

校庭の芝生化を子どもたちや地域の方と一緒にあって低コスト、低管理で造成し維持している『鳥取方式』の芝生化事例を参考に、初期造成から維持管理の修復にまで利用できる可能性を考えます。



## 視点2：つかう 『新しくてあたり前のこと』

NPO法人グリーンスポーツ鳥取理事長 ニール スミス氏

鳥取県から無償貸与された牧草地を地域の方たちと一緒に芝生化し、使う人たちが自らメンテナンスに参加してスポーツフィールド(グリーンフィールド)として維持し、地域の様々な活動に利用されている事例から、『新しくてあたり前』の芝生文化を作り出す可能性を考えます。

## 視点3：子ども 『子供が変わる可能性について』

同志社大学文学部 鈴木研究室 福田美紀氏

平成16年に校庭を芝生化した大阪市立清江小学校の子どもたちを対象に、芝生の校庭が子どもたちの心身面に対してどのような効果や影響があるかを3年間にわたって調査されている結果から、芝生の校庭が持つ新しい可能性について考えます。

### 記

日時：2007年(平成19年)3月24日(土)  
13:30~17:00

場所：エル・おおさか(大阪府立労働センター)  
5階 視聴覚室(利用予定人数108名)  
地下鉄谷町線『天満橋駅』西へ約300m  
06-6942-0001

参加費無料

主催：特定非営利活動法人 芝生スピリット  
後援：大阪府

問合せ先：特定非営利活動法人 芝生スピリット 大阪事務所  
〒540-0039 大阪市中央区東高麗橋3-32-302  
TEL：06-6942-5290(担当 種)



{シンポジウムプログラム}

テーマ：“芝生の校庭”をつづけるための方策を探る

日時：2007年（平成19年）3月24日（土）

13:30～17:00

場所：エル・おおさか（大阪府立労働センター）

5階 視聴覚室（利用予定人数108人）

地下鉄谷町線『天満橋駅』西へ約300m

06-6942-0001

- 開 会 13:30
1. 開会の挨拶と調査結果の報告 13:30～13:55（25分）  
NPO法人芝生スピリット副代表理事 種 外史昭
2. 提言1：『鳥取方式の園庭・校庭の芝生化について』 13:55～14:30（35分）  
鳥取大学農学部 中野 淳一
- 提言2：『新しくてあたり前のこと』 14:35～15:10（35分）  
NPO法人グリーンスポーツ鳥取理事長 ニール スミス
- 提言3：『子どもが変わる可能性について』 15:15～15:50（35分）  
同志社大学文学部 鈴木研究室 福田 美紀
- 休憩 10分 —
3. 討論会 16:00～16:50  
シンポジウム参加者による質疑応答を含む
4. まとめと挨拶 17:00終了  
NPO法人芝生スピリット代表理事 遠藤 隆幸

シンポジウム終了後、懇親会を予定しています。

『懇親会』：10階 宴会場 竹 17:00～19:00

会費：1,000円（一軽食とお飲み物を用意しています）